保証書

型番　PSD-22		
シリアルナンバー		
お客様	お名前	
	ご住所	〒 TEL
販売店	販売店名・住所・TEL 担当者名	
保証期間　12ヶ月	お買い上げ年月日	年　月　日

切取線

※必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

保証規定

1. 保証期間内(お買上げ日より12カ月間)に正常な状態でご使用の場合に限り品質を保障しております。
   万一保証期間内で故障がありました場合は、当社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2. 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
   (1)保証書をご提示いただけない場合。
   (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   (3)取り扱い上の不注意による故障・損傷の場合。
   (4)お客様による輸送・移動中の衝撃による故障・損傷の場合。
   (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障・損傷の場合。
3. お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責を負わないものとします。
5. 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
6. 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用はお客様のご負担となります。
7. 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

サンワサプライ株式会社

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所/〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 ☎011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル ☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル ☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル ☎06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX.092-471-8078
金沢営業所 ☎076-222-8384

07/03/JMDaT

パーソナル シュレッダー 取扱説明書

PSD-22

最初にご確認ください

セット内容

- ●PSD-22本体 ……………… 1台
- ●取扱説明書・保証書(本書) ……………… 1部

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡してください。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

注意を促す記号	行為を禁止する記号		行為を指示する記号	
一般的な注意	禁止	分解禁止	電源プラグをコンセントから抜く	一般的な強制

警告

異常(発煙・変な臭い)な状態のまま使用しない。
火災や感電の原因となります。
※スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、販売店または当社営業所にご相談ください。

分解・修理・改造は絶対しない。
火災や感電の原因となります。
※修理は、販売店または当社営業所にご依頼ください。

表示された電源・電圧以外で使用しない。
火災や感電の原因となります。

高い場所や、不安定な場所には設置しない。
転倒して、故障やけがの原因となります。

異物(金属・水など)が入った場合は、スイッチを切り、電源プラグを抜く。
火災や感電の原因となります。
※販売店または当社営業所にご相談ください。

電源コードが破損するようなことはしない。
・電源コードの上に重いものを乗せない。
・加工したり傷をつけたりしない。
・無理に曲げたり、ねじったりしない。
・加熱しない。
・熱器具に近付けない。
火災や感電の原因となります。

ご注意

注意

髪の毛、ネクタイ、ネックレスなどを投入口にたらさない。
引き込まれて、けがの原因となります。

幼児には、絶対使用させない。
内部にカッターがあり、けがの原因となります。

投入口や排出口には、指を入れない。
内部にカッターがあり、けがの原因となります。

本体の上に重いものを置かない。
倒れたり、落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所に置かない。また、水をかけない。
火災や感電の原因となります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない。
感電の原因となります。

電源プラグを持って抜く。
電源コード部を引っ張ると感電したり、ショートして発火することがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。
漏電・火災の原因となります。

お手入れ・点検の際は、電源プラグを抜く。
感電やけがの原因となります。

移動の際は電源プラグをコンセントから抜く。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

各部の名称と働き

上から見た図

①用紙投入口　②センサー

上から見た図

③電源スイッチ

入(自動)　切　逆回転

④CD・DVD投入口(センサー付き)

⑦電源コード

⑥確認窓

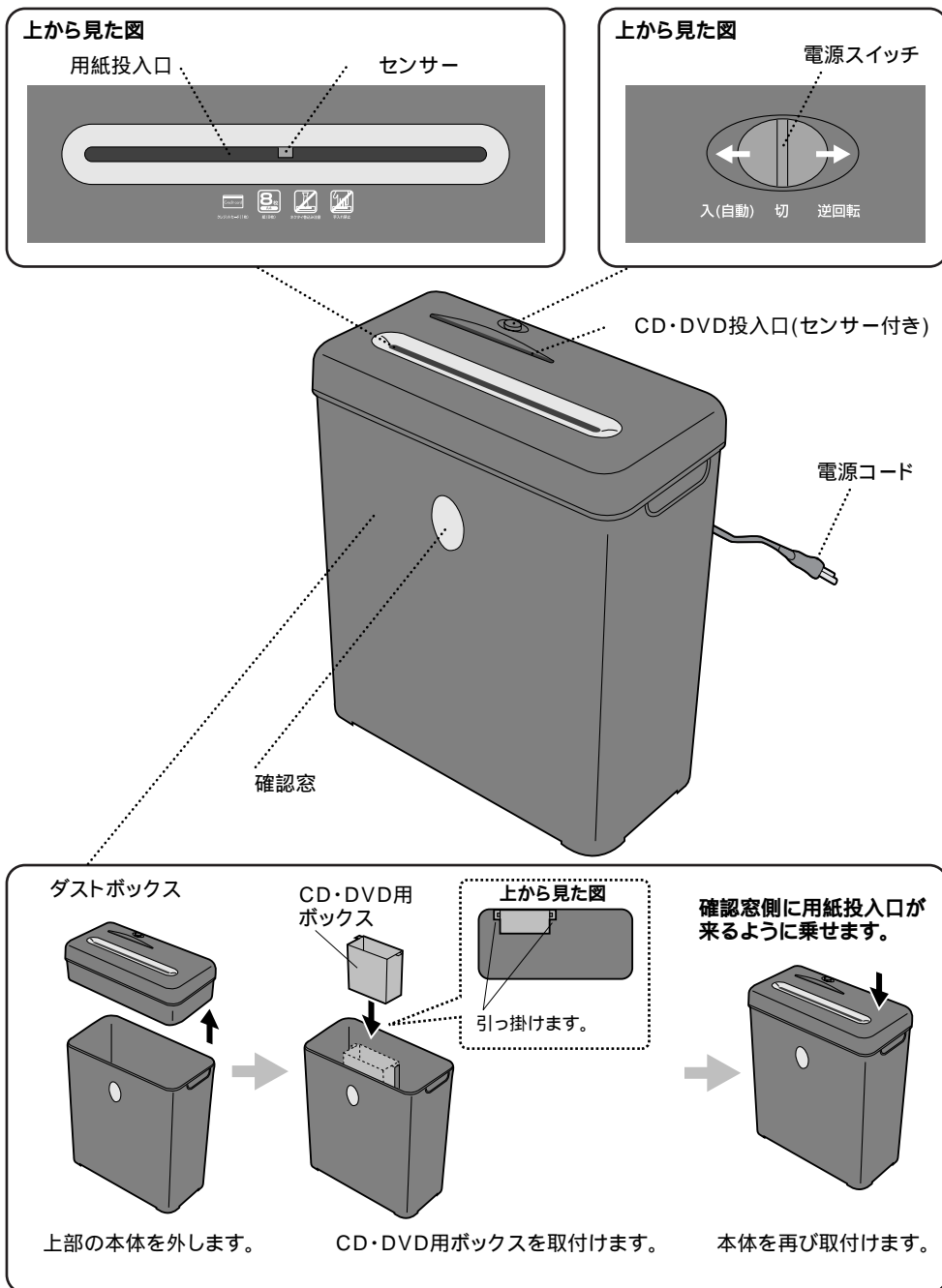
⑤ダストボックス

CD・DVD用ボックス

上から見た図

引っ掛けます。

※確認窓側に用紙投入口が来るように乗せます。

上部の本体を外します。　CD・DVD用ボックスを取付けます。　本体を再び取付けます。

①用紙投入口

細断する紙を投入します。紙以外の投入は絶対に避けてください。

②センサー

電源が入っている時、用紙投入口中央にあるセンサーを用紙が通過するとモーターが回転し、細断可能な状態になります。

③電源スイッチ

”入(自動) ”……電源が入り、センサーを細断する物が通過することにより自動的にカッターが正転作動・停止します。

”切 ”……………電源が入っていない状態になります。使用後はこの位置に合わせてください。

”逆回転 ”………カッターが正転とは逆方向に作動します。(紙が詰まった時などに使用します。)

④CD・DVD投入口(センサー付き)

細断するCD・DVDを投入します。CD・DVD以外の投入は絶対に避けてください。

⑤ダストボックス

細断クズを収容するダストボックスです。上部の本体を外して細断クズを取り出します。
各地方自治体の法令に従って分別し、廃棄してください。
細断クズは貯めすぎないようにこまめに取り出してください。

⑥確認窓

ダストボックス内部の様子を確認することができます。

⑦電源コード

必ず家庭用AC100Vのコンセントに接続して使用してください。
タコ足配線は避けてください。

注意

必ずコンセントに近く、電源プラグを容易に取外しできる場所に本体を設置してください。

ご使用の前に

本機は紙類およびCD・DVDの細断専用機です。

※紙は用紙投入口へ、CD・DVDはCD・DVD投入口へ投入してください。
投入口を間違えて投入しないでください。

※クリップなどの金属や、クレジットカード類、OHPシート・新聞紙・カーボン紙・感熱紙・ポリ袋・布・ビニール・フィルム・ラベル用紙・シールなどの糊の付いたものは投入しないでください。

細　断　能　力

紙詰まりなどによる故障を避けるために、下記の細断枚数を必ず守ってください。

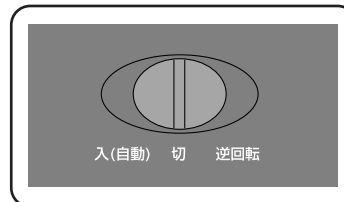
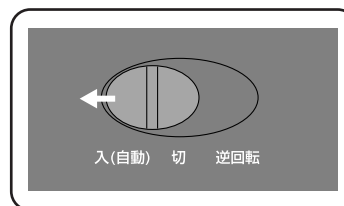
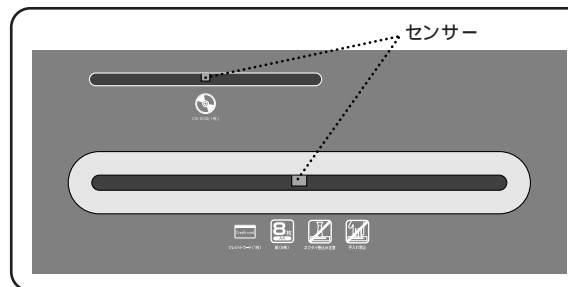
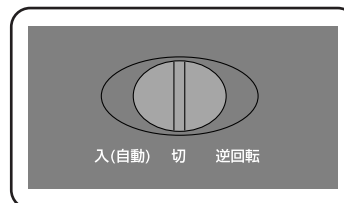
投入口	摘　　要	カットタイプ	規定細断枚数
用紙投入口	A4コピー用紙（64g/m²）	クロスカット（4×44mm）	8枚
CD・DVD 投入口	CD・DVD（直径120mm）	8分割	1枚

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。

※用紙投入口（A4サイズ）より大きな紙を細断する場合は、投入口より小さい幅に折ってから細断を開始してください。（規定枚数を超えないようにしてください。2ツ折/1枚=2枚）

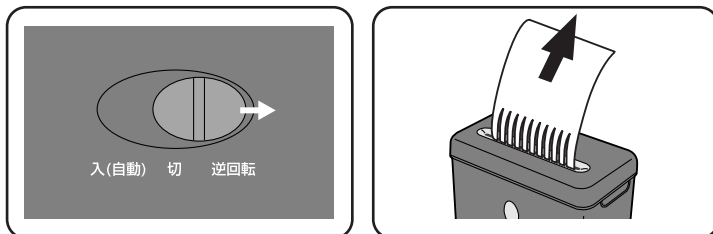
用紙投入口およびCD・DVD投入口にネックレス・ネクタイ・衣類・髪の毛などが引き込まれないようにしてください。
■感電やけがをすることがあります。
もしも引き込まれそうになった時は、電源スイッチを“ 逆回転 ”に合わせて、取り除いてください。

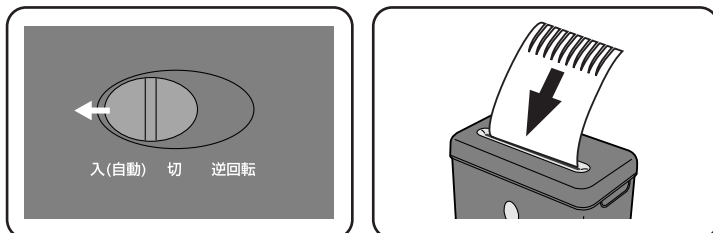
ご使用方法

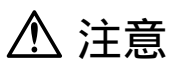
1. 電源スイッチが ”切 ”になっていることを確認してから、電源プラグをコンセント（100V）に差し込んでください。

2. 電源スイッチを ”入(自動) ”に合わせてください。
※上部の本体が正しい位置にないと本機は作動いたしません。
確認窓側に用紙投入口が来るように取付けてください。

3. 細断する紙またはCD・DVDを各投入口の中央にまっすぐ入れてください。
※各投入口中央にある**センサーが感知できるように、**まっすぐ投入してください。
センサーから外れると、細断は止まります。

4. 終了後は、必ず電源スイッチを ”切 ”に合わせてください。

ーオートカットオフ機能ー

本機はモーター保護のためオートカットオフ機能が働いて、連続運転（2分以上）を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置すると、自動的に停止します。この機能が働き本機が停止した時は電源プラグを抜き、そのまま放置してください。約20分後には再び細断が可能になります。

紙詰まりを起こしたとき

1. 規定枚数以上の投入、紙を斜めに投入したことなどで紙詰まりが起きると、カッターの回転が止まります。
電源スイッチを“ 逆回転 ”に合わせて、詰まった紙を引き出してください。

※逆回転の際、以前に細断した紙が出てくる場合がありますが、製品の異常ではありません。

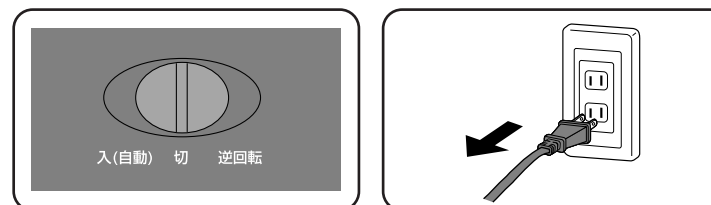
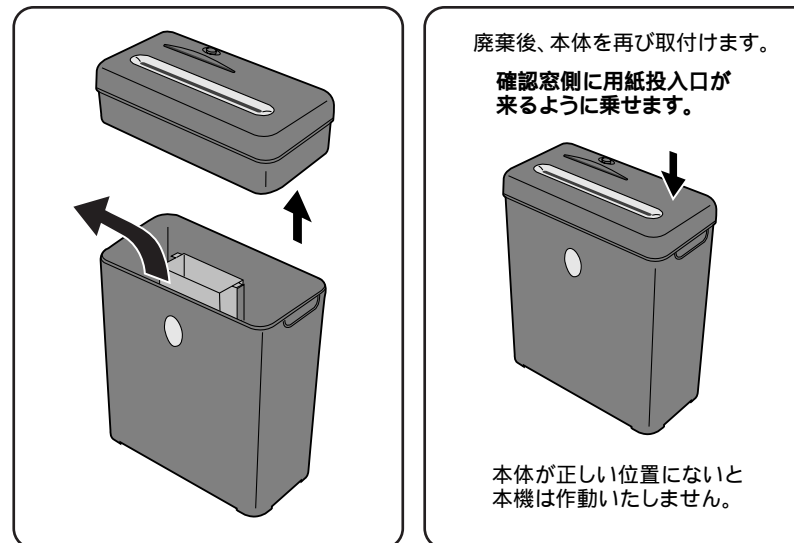
2. 電源スイッチを“ 入(自動) ”に合わせます。
紙の量を規定枚数以下に減らして細断した逆側の方向から用紙投入口にまっすぐに入れてください。

3. 終了後は、必ず電源スイッチを ”切 ”に合わせてください。

★モーターに負担がかかりますので、頻繁に正転⇔逆回転を繰り返さないでください。

⚠ **注意**　紙詰まりを起こしたままの状態で放置しないでください。
■故障する原因になります。

細断クズの捨て方

●安定した状態を保つため、ダストボックスの6分目程度でクズを捨てることをおすすめします。

①必ず電源スイッチが ”切 ”になっていることを確認してから、
電源プラグをコンセント（100V）から抜いてください。

※電源プラグを抜かずにクズを捨てると、コードが引っかかったり、本体が落下してけがをしたり、本体の故障の原因となる場合があります。

②上部の本体を外して細断クズを取り出します。
各地方自治体の法令に従って分別し、廃棄してください。

廃棄後、本体を再び取付けます。
※確認窓側に用紙投入口が来るように乗せます。

※本体が正しい位置にないと本機は作動いたしません。

使用上の注意とお願い

規定以外のものは入れないでください。
※金属や衣類は、カッターに損傷をあたえ、故障の原因となります。

湿った紙やカーボン紙、シールのついた紙は入れないでください。
※カッターに細断クズがからまり、細断性能を低下させます。

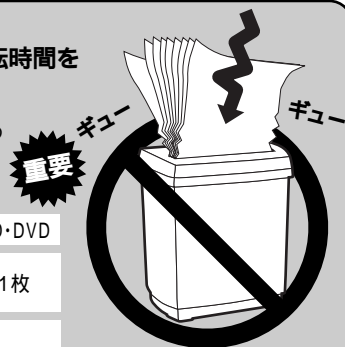
ダストボックスに、ビニール袋や紙袋等をかけて使用しないでください。
※本体がしっかりセットされず、正常に動作しない場合があります。

必要以上に逆回転させないでください。
※細断クズが投入口にたまり、故障の原因となります。

使用後は必ず電源スイッチを ”切 ”の位置に合わせて電源を切ってください。

ダストボックスを外した状態では、安全装置により本機は作動いたしません。

必ず規定枚数・連続運転時間を守ってご使用ください。
※モーターを傷めたり、故障の原因となったりします。

	紙	CD･DVD
規定枚数	8枚	1枚
連続運転時間	2分	

⚠ 注意　**分解、修理、改造を行わないでください。**
■感電やけがをすることがあります。

仕　様

PSD-22(クロスカット)

裁断物	A4コピー用紙、クレジットカード、CD
投入幅	216mm
裁断形状	紙/4.0×44.0mmクロスカット　CD･DVD/8分割
裁断枚数	A4コピー用紙8枚
裁断時間	約3.0m/分
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	260W 2.5A
サイズ	W322×D170×H362mm
バケット容量	15ℓ
騒音	約70db
重量	約5Kg
連続使用時間	2分（20分休止後再運転可）

お手入れ

⚠ 注意　**お手入れの際は、必ず電源スイッチを ”切 ”に合わせて電源プラグを抜く。**
■感電やけがをすることがあります。

本体の外側の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。
汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
※お手入れはマシン本体の外樹脂部とキャビネット（マシン下部）だけにしてください。
●ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉などでは、絶対に拭かないでください。
※ひびわれ、変形、変色、故障の原因となります。

おや？故障かな？と思ったら・・・

⚠ 注意　**点検の際は、必ず電源スイッチを ”切 ”に合わせて電源プラグを抜く。**
■感電やけがをすることがあります。

状　況	調べるところ	直し方
動かない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れ直してください。
	電源スイッチが ”切 ”の位置になっていませんか？	電源スイッチを ”入（自動）”の位置に合わせてください。
	細断物が投入口真ん中のセンサーを通過していますか？	投入口中央にあるセンサーが感知できるようにまっすぐに投入してください。
	上部の本体を正しくダストボックスに取付けていますか？	上部の本体が正しい位置にないと安全装置が働き作動しません。確認窓側に用紙投入口が来るようにしてしっかり乗せてください。
	紙詰まりを起こしていませんか？	電源スイッチを ”逆回転 ”に合わせ、詰まった紙を取り除いてください。
細断中に止まったまたは細断できない	長時間の使用により、オートカットオフ機能が働いていませんか？	連続運転時間(2分)をこえて細断したり、紙がかみこんだ状態で放置すると、オートカットオフ機能が働いて停止します。電源プラグを抜き、20分ほどそのままおいてください。再び細断を再開できます。
	紙を多く入れすぎていませんか？	定められた枚数以下にして細断してください。
	投入口の幅より大きな紙を入れていませんか？	投入幅口の幅より小さな紙で細断を行ってください。
	紙が斜めに挿入されていませんか？	まっすぐに挿入してください。
	クリップ・ピンなどをかみ込んでいませんか？	一度逆回転させた後、電源プラグを抜き、本体を逆さまにして取り除いてください。

※点検後、なお異常がある場合は販売店または当社営業所にご連絡ください。